

ふれあいだより

行橋市立稗田小学校 H24. 6. 15 第1号

「地域の人に学ぼう！米作り」(5年 総合的な学習の時間)

6月12日(火)に、稗田小5年生(34名)は、総合的な学習の時間「地域の人に学ぼう！米作り」における体験活動として、地域の村上美輝さん方の田んぼで「田植え体験」を行いました。はだして、田んぼに入って「わあーっ」という声があがっていました。はじめは、田んぼに苗をもって立つだけで大変でしたが、なれてくると、「まだやりたい。」という子どもたくさんいました。田植えしながら、毎日食べているお米が、手間ひまかけて育てられていることに気づくことができました。はじめて、田植えを体験する子どもも多くいて、地域のよさが実感できるとても有意義な体験をすることができました。



苗は3~5本とります。
もち米とごはんの米は、
苗の大きさがちがいます。

田植え体験をさせていただいた
稗田校区の村上さん



田植え機による
「高速田植え」の
実演も見せてく
ださいました。



【子どもの感想】

わたしは、初めて田植え体験をしてとてもむずかしかったです。こけそうになったり、なえを4, 5本とったりするのが大変でした。村上さんは、田植えの時になるといそがしいということよくわかりました。村上さんは米作りを長年やっていて、つくるのが大変だと思います。でも、米づくりを続けているのがすごいことだと思いました。今日、私は、米づくりは、どれだけ大変なのかよくわかりました。秋のいねかりもよろしくお願いします。ありがとうございました。

田植えのあとは、水の世話や肥料、
除草とお米になるまで仕事は続きます。

ありがとうございました

